ＩＧＳ　ＮＥＷＳ　抄訳

ＶＯＬ．１１．　ＮＯ．２　ＪＵＬ．　１９９５

ＩＧＳ日本支部　編集委員　大　倉　史　郎

ジョーンズ会長メッセージ(p2)　10年ごとに知識ベースが倍増するような技術社会にいる我々にとって最も重要なことは良好なコミュニケーションである。このためＩＧＳでは、インターネットを通じてワールドワイドウェブによる情報提供を開始した。詳細はバタースト副会長とエルトン編集長の解説を参照願いたい。従来からの印刷刊行物はそのまま残る。各支部から提供される資料も非常に重要である。
又、本号にはＩＧＳとしての倫理綱領の原案が掲載されているので会員各位が検討されるよう希望する。

ブラジルの挑戦(p2)バタースト副会長　６月26～28日ブラジルのサンパウロで開催されたジオシンテティコス'95にＩＧＳを代表して出席した。200人以上の参加者で発表や討論が熱心に行われた。支部の結成も討議されパルメイラ教授（ブラジリア大学）、マロニ氏（ロディアスター社）の主導で実現に向けて進むことになる。

ＩＧＳパソコン通信ネットワーク(p3～4)バタースト副会長　６月にワールドワイドウェブの基地をカナダのロイヤルミリタリーカレッジ内に設置したことにより、インターネットを通じての交信が可能となった。これを利用するためには①インターネットに加入すること②適切なソフト“Ｗｅｂ　Ｂｒｏｗｓｅｒ”といわれるものが必要。
接続先のアドレスは http://igs.rmc.ca である。これによってＩＧＳホームページが得られる。ＩＧＳホームページには重要な発表事項、ＩＧＳの目的と歴史、組織、役員と理事の名前・アドレス、法人メンバーリスト、支部リスト、最近の刊行物、行事予定などの情報が記載されている。又、読者から情報を提供してホームページに掲載してもらうことも可能である。本件コンタクトはバタースト副会長まで。

ジオシンセティックス技術者のためのコンピューターネットワーク(p4 ～5)エルトン編集長
インターネットに加入することにより、多くの情報に接することが可能になる。そのためのアドレスが多数紹介されている。ごく一部を下記に紹介する。

ASCE Geotech　　http://www.ce.utexas.edu:3000
CE Calender　　http://audrey.fagg.uni-lj.si:80/ICARIS/dates.ce./

その他ジオシンセティックス関連のページについての問い合わせエルトン編集長まで。

理事会報告(p6)スティーブンソン事務局長　1995年２月19～20日ナッシュビルで開催された理事

会の報告である。これについては本誌前号に赤木教授のレポートがあるので省略する。

倫理綱領の提案(p7～8)リモルディ理事　原案は去る２月の理事会に提案されたもので次のような項目から成り立っている。

１．基本原則
２．会員と公共との関係
３．会員と雇用者、顧客との関係
４．会員相互の関係
５．会への義務

ジョーンズ会長はこれについて会員の活発な論議をよびかけている。

教育に果たすＩＧＳの潜在的な役割(p8～9)ホルツ教育委員長　２月の理事会では教育の分野でＩＧＳが何をなすべきかにつきかなりの時間を割いて討議された。今までの教育委員会の活動としては学生メンバーに関連したものが主体であったが、今後はもっと範囲を拡げてジオシンセティックスの普及のために有効な手段を実行に移すことになった。具体的には次のようなことがあげられている。

１．大学の教科の中にもっとジオシンセティックスを組み入れるよう教師を教育する
２．ディスク、インターネット、ＣＤ－ＲＯＭなどコンピューターメディアの活用
３．会議や展示会の開催
４．講義やショートコースなど、講師やトピックスのカタログを作るのも一案
５．設計者を指導する専門家の体制作り
６．学生メンバーとのかかわりは今まで通り

本件についてのコメントはホルツ委員長又は他の教育委員へ。

ＩＧＳ表彰募集(p9)バタースト副会長　1996年のＩＧＳ表彰候補者の推薦を募集する。1992年から95年まで４年間の業績に対するもので、賞は前回と同じくＩＧＳ賞とヤング賞の２種類。推薦期限は1996年１月末、提出先はスティーブンソン事務局長。

ジオシンテティコス´９５(p10) パルメイラ教授　第２回ブラジルジオシンセティックスシンポジウムが６月26～28日サンパウロで開催された。ブラジル以外南米、北米、欧州からの参加者も含めて200名以上参加、４つのセッションで42の論文発表、パルメイラ教授、バタースト教授、カズフィ氏、グルク教授の４氏による特別講義、メーカーによる製品展示会など盛会であった。参加者の評価も上々で、近い将来ブラジル又は南米支部の結成へと進んでいくものと期待される。

ジオシンセティックス文献集(p10)　第１巻に続き第２巻が完成、配布可能となっている。価格は１巻当たり一般99ＵＳドル、会員は79ドル、送料日本向け42ドル。申し込みはＩＦＡＩ

法人会員紹介(p11)　今回は１社のみ

・Ｒｈｏｄｉａ－Ｓｔａｒ　Ｆｉｂｅｒ，Ｌｔｄ．（ブラジル）

　　フランスのロ－ンプ－ラン　グル－プで1919年に設立された化学、薬品、繊維の総合メ－カ－であるが、1994年にセルブラス（セラニ－ズのブラジル法人）と合併して、現在の社名となった。ポリエステル繊維では南半球随一のメ－カ－である。ジオシンセティックスとしては1971年以来、不織布Ｂｉｄｉｍを生産しており、最近はジオグリッド、ジオセル、ジオコンポジットまで拡がっている。特に環境保護の分野に力を入れており、ＰＥＴのリサイクルも始めている。又、ＩＳＯ９００１も取得の過程にある。

第７回ＩＧＳ大会のスポンサ－募集(p11)　2002年に開催予定の第７回大会を引き受ける支部又は団体を募集している。詳細はＩＧＳ事務局へ。

ジオグリッド補強土よう壁阪神大震災に健在(p12～13) 龍岡教授外　本誌前号に掲載された緊急報告の中、ＧＲＳよう壁に関する部分の要約である。

神戸周辺ＪＲ東海道本線にＲＲＲ工法で建設されたよう壁の中、最激震地の芦屋附近のものはごくわずかな変形を示したが、尼崎や垂水のものは全く異常がなく、重力型や片持ち型と比較して極めてすぐれた耐震性を立証した。この結果にもとずいて、今回の地震で倒壊した３ケ所、長さ計１kmのよう壁復旧にＲＲＲ工法が採用されることになった。

ＩＧＳ支部報告(p13～15)　前号に続く。今回で完了。

・イタリア支部　公式には1993年１月１日の設立。1994年の会員数は法人２、学生８、個人154。主な活動としては①環境大臣に協力して切り土や堤防の補強緑化のシステム作り、②施工現場の視察③ＡＧＳとＩＧＳの協力可能性の探索④第５回シンガポ－ル大会参加のアレンジ⑤第８回イタリアジオシンセティックス会議の開催（ボロ－ニア　10月20日）など。

・イギリス支部　会員数は82であまり動きはない。全国各地での集会はロ－カルの関連団体の協力を得て実施、色々なトピックスが議題に取り上げられた。１日セミナ－も開催、来年はオランダに協力して第１回欧州会議を実現する。

・韓国支部　個人会員数38。昨年５月10日、ソウルでセミナ－を実施、日本から落合、林両教授の基調講演を得て盛会であった。

・日本支部　本年１月19日総会開催。昨年末の会員数は名誉会員１、個人200、学生45、法人22である。1994年中の出版物、セミナ－、シンポジウムの開催、委員会活動、ＩＧＳ理事会への出席、1995年の事業予定など紹介。

イタリア支部現場視察(p15)　ＩＧＳイタリア支部では79名の参加を得て、４月に現場視察旅行を実施した。訪問したのは３ケ所の廃棄物処分場である。これらの処分場におけるライナ－構成は下から50cm厚の粘土層、1.5mmのＨＤＰＥシ－ト、その上が65cmの土層となっている

欧州における補強土シンポジジウム(p16)　５月18日ロンドンで開催、イギリスはじめ欧州各地

からの参加者により、補強土の実際について17篇の論文発表あり、またあとで５篇の追加があった。議事録は９月に刊行、詳細は下記へ。

Thomas Telford Publications
Thomas Telford House, 1 Heron Quary, London E14 4JD, UK
Tel.:44-071-987-6999　Fax:44-071-538-4101

論文募集(p16)

①ＩＳ九州
②ＥＵＲＯ　ＧＥＯ１（第１回欧州ジオシンセティックス会議）
③第３回ＲＩＬＥＭ
④Geotextiles & Geomembranes "Geofoam" 特集
以上４件の論文募集があるが要旨提出が本年９～10月で何れも期限切れである。

Geotextiles & Geomembranes(p17)　今まで通りＩＧＳ会員には80％割引で、年間102ドルの購読料が適用される。又、会員は本誌を論文発表の場として利用できる。

Geosynthetics International(p17)　会員に対する特別レートは年間99ドル（通常＄225）である。本誌も投稿歓迎。

予定されている国際会議など(p18)

・Geofilters '96　Montreal, Quebec, Canada 29-31 May 1996
・Third International Symposium on Environmental Geotechnology
　San Diego, California, USA, 10-12 Jun 1996
・Euro Geo 1　Maastricht, The Netherland, 30 Sep-2 Oct 1996
・3rd RILEM　Maastricht, The Netherland, 2-4 Oct 1996
・IS-Osaka '96　大阪　5-8 Nov 1996
・IS-Kyushu '96　福岡　12-14 Nov 1996